

科目	倫理	学年	第3学年	開講	通年	必修	2 単位
----	----	----	------	----	----	----	------

教科書：実教出版「高校倫理 新訂版」
副教材：実教出版「高校倫理 新訂版 演習ノート」

1 学習の到達目標

- ① 人間尊重の精神に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めさせる。
② 人格の形成に努める実践的意欲を高め、生きる主体としての自己の確立を促し、良識ある公民としての必要な能力と態度を育てる。

2 学習計画及び評価方法

- a 知識・技能 定期考査、課題等
b 思考・判断・表現 定期考査、課題等
c 主体的に学習に取り組む態度 平素の授業態度、提出物、発表等

学期	項目	単元	学習内容	学習のねらい	月	考査								
前期	第1章	青年期の意義	人間とは何か 青年期とは何か	・人間性の特徴について考察し、自分の考えをまとめる。 ・青年期をアイデンティティ確立の時期として理解し、生涯にわたり繰り返される自己の成長について考察する。 ・自己の内面を客観的に見つけ、欲求の充足と調整への理解を通して、望ましい自己のあり方について考察する。	4									
		青年期の課題	自己形成の課題 自立への課題											
		ギリシア思想	自然哲学とソフィスト ソクラテス プラトン アリストテレス ヘレニズム時代の思想				・ギリシアの思想家のものの見方・考え方を理解することにより、私たちに与えてくれたような意味をもつのかを考える。 ・宗教を原因とする争いを通して、宗教とは何かを理解する。 ・哲学や宗教の意義を考え、先人の生き方を手がかりに、どのように生きていくべきかを学ぶ。	5	中間					
			キリスト教							古代ユダヤ教 イエス キリスト教の誕生と展開	・ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、仏教について学び、それぞれにみられる人間観について理解する。 ・中国思想を学び、個人の内面のあり方や他者とのつながりについての理解と思索を深める。 ・哲学や宗教の意義を考え、先人の生き方を手がかりに、どのように生きていくべきかを学ぶ。		6	
	イスラーム													
	仏教			仏教以前のインド思想 ブッダの教え 大乘仏教の成立とその教え										
	中国思想		「道」の自覚—孔子 儒家思想の展開 老荘思想											
		第3章	近世日本の思想				儒教の受容と朱子学 日本陽明学 日本的儒学の形成—古学 国学の形成 民衆の思想 幕末の思想	・儒教の日本化や庶民の思想、外来思想の特徴を理解するとともに、それらが日本人の思想形成に与えた影響について考察する。						
	西洋思想の受容と展開			啓蒙思想と自由民権思想 キリスト教の受容 国家主義の台頭と社会主義思想 近代自我の確立 近代日本哲学の成立と超国家主義 伝統の自覚と新たな課題	・国際社会に生きる日本人として、これからの自分の生き方やあり方について考える意欲を高める。 ・日本の西洋文化や思想の受容を通して、日本と西洋諸国の違いについて比較考察する能力を養う。		7							
				前期 授業評価										
				後期							第4章	民主社会と自由の実現	新しい学問の方法 人格の尊厳—カント 人倫—ヘーゲル	・民主社会における人間の在り方についての理解と思索を深める。 ・カント、ヘーゲルなど、哲学の歴史において重要な転換・革新をもたらした思想について、その後どのような影響を与えていったのかを考察する。
			個人と社会との調和—功利主義					・自己実現と幸福、個人と社会の関わりについての理解と思索を深める。 ・それぞれの思想主義がどのように社会の進歩を構想していたのかを比較考察する。	10					
	社会と個人		社会の進歩 社会の変革—社会主義 主体性の自覚											
			人間への新たな問い					理性の深層への反省 言葉への反省 理性の働きへの反省 他者へのまなざし	・二度の世界大戦をはじめとする技術革新の負の側面から、人間中心主義を基調とする近代理性を根本的に反省し、思想家たちがどのような視点から克服を試みたのかを考察する。	11				
	社会参加と幸福				生命への畏敬と非暴力の思想 正義と福祉 社会のなかの人間	・人間社会における哲学的な課題について、思想家たちがどのように問題提起をして、克服方法を探っていたかを理解し、自分なりの考えや主張を確立する。	12	期末						
		第5章			生命の倫理 環境の倫理							・現代の主要となる哲学的な課題について、問題点と意見対立の要点を把握し、自分なりの考えや主張を確立できる。		
					後期 授業評価									

3 評価の観点

- 各観点100点満点で算出する。
○知識・技能 : 考査素点 70%+課題等 30%
○思考・判断・表現 : 考査素点 60%+課題等 40%
○主体的に学習に取り組む態度 : 平素の授業態度、提出物、発表等…100%